

肺炎球菌ワクチンについてのご案内

肺炎球菌ワクチンには

「ニューモバックス」(多糖体ワクチン) と、

「プレベナー13」(結合型ワクチン) の2種類があります。

「ニューモバックス」は、肺炎球菌による菌血症などの感染症を予防し、重症化を防ぐため、昨年より国からの補助が出て定期接種となったワクチンです。5年後に2回目を接種できます。

「プレベナー13」は、接種による予防効果が高く、体内に肺炎球菌が侵入した際の反応も良く、より長期的に予防効果があるとされているワクチンです。こちらは1回のみ接種です。

アメリカでは、「プレベナー13」を先に接種し、それから6～12ヶ月後に「ニューモバックス」を接種することが推奨されています。理由としては、プレベナー13を先に接種した方が、予防効果が高くなるからです。

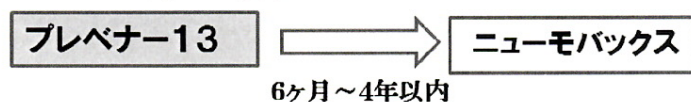
当院では、肺炎予防のためには「プレベナー13」を先に接種されることをお勧めしています。ご希望のかたは「プレベナー13」の接種から6～12ヶ月後に「ニューモバックス」の接種を受けられて下さい。

すでに「ニューモバックス」接種済みの方も、接種から1年以上過ぎていれば「プレベナー13」の接種が可能です。

「プレベナー13」の価格は、12000円となります。

詳しくは医師までご相談下さい。

《例1》プレベナー13から
始めた場合



《例2》ニューモバックスから
始めた場合

